

市第53号議案 令和4年度横浜市一般会計補正予算(第3号)(関係部分)

歳入歳出補正予算内訳

合計: ▲682,884 千円

【増額補正】 6事業 1,628,818千円 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用します。)

【減額補正】 1事業 ▲2,311,702千円

【債務負担行為補正】

予算外義務負担の追加 1件

予算外義務負担の変更 1件

1 新型コロナウイルス感染症対策

合計: 274,800 千円

(1) 修学旅行等支援事業

74,800 千円

(単位:千円)

事業名	9月補正前 現計予算	補正額	補正額				9月補正後 現計予算
			国費	その他	市債	一般財源	
修学旅行等支援事業	-	74,800	-	-	-	74,800	74,800

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、市立学校で実施する修学旅行について、校内で陽性者が複数出たことで、実施直前にやむを得ず延期又は中止した際に生じるキャンセル料等を公費で負担します。

◆実施概要

・実施内容：校内で陽性者が複数出たことで、実施直前にやむを得ず延期又は中止した際に生じるキャンセル料等の公費負担

・対象：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校(義務教育学校を含む)

(2) 学校環境整備費(環境衛生検査費)

200,000 千円

(単位:千円)

事業名	9月補正前 現計予算	補正額	補正額				9月補正後 現計予算
			国費	その他	市債	一般財源	
学校環境整備費 (環境衛生検査費)	4,953	200,000	-	-	-	200,000	204,953

新型コロナウイルス感染症等に対する換気対策を実施するため、教室内の二酸化炭素濃度を測る測定器(CO2モニター)を学校に設置するとともに、子どもたちの換気意識を高めます。

◆実施概要

・対象：小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校(義務教育学校を含む)

・対象校数：509校

2 DX推進など将来を見据えた施策の展開

合計： 1,354,018 千円

(1) オンライン授業用機器の導入(小学校教育用コンピュータ整備事業ほか1事業) 827,393 千円

(単位:千円)

事業名	9月補正前 現計予算	補正額	補正額				9月補正後 現計予算
			国費	その他	市債	一般財源	
小学校教育用コンピュータ 整備事業	1,553,015	653,470	80,865	-	-	572,605	2,206,485
中学校教育用コンピュータ 整備事業	491,335	173,923	54,652	-	-	119,271	665,258
合計	2,044,350	827,393	135,517	-	-	691,876	2,871,743

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な事情で登校できない児童生徒が家庭でも学習に取り組むことができるように、オンライン授業の推進に向けて、機材を整備します。

◆実施概要

- ・実施内容：小学校および中学校にプロジェクター、スクリーン、撮影用端末等を設置
- ・設置時期：令和5年3月までに設置
- ・設置台数：2,132セット(内訳は下記表のとおり)
- ・財 源：公立学校情報機器整備費補助金

ア 小学校(3年生以上)

	学校数	セット	合計
中・小規模校	279	4	1,116
大規模校	17	8	136
オンライン授業先進校	44	8	352
合計	340	-	1,604

	セット
プロジェクター	1,604
スクリーン	
端末	
端末スタンド	
ピンマイク	

中・小規模校：3年生以上に1学年1セットずつ、計4セットを整備

大規模校：学級数が25以上の学校に中・小規模校の倍の1学年2セットの計8セットを整備

オンライン授業先進校：先行的に好事例の研究・発信に取り組む学校に計8セットを整備

イ 中学校

	学校数	セット	合計
中・小規模校	120	3	360
大規模校	2	6	12
オンライン授業先進校	26	6	156
合計	148	-	528

	セット
プロジェクター	528
スクリーン	
ピンマイク	
外付カメラ	
カメラスタンド	

中・小規模校：各学年1セット、計3セット整備

大規模校：学級数が25以上の学校に各学年2セット、計6セット整備

オンライン授業先進校：先行的に好事例の研究・発信に取り組む学校に計6セット整備

(2) 学習者用デジタル機器の導入(高等学校教育用コンピュータ整備事業ほか1事業)

526,625 千円

(単位:千円)

事業名	9月補正前 現計予算	補正額	補正額				9月補正後 現計予算
			国費	その他	市債	一般財源	
高等学校教育用コンピュータ 整備事業	56,422	469,195	-	-	-	469,195	525,617
特別支援学校教育用 コンピュータ整備事業	57,663	57,430	-	-	-	57,430	115,093
合計	114,085	526,625	-	-	-	526,625	640,710

文部科学省より、「GIGAスクール構想における高等学校の学習者用コンピュータ端末の整備の促進について(通知)」を受け、高等学校及び特別支援学校高等部の生徒全員に1台デジタル機器が割り当てられるように学習者用の端末を購入し、各学校へ設置します。

◆実施概要

- ・実施内容：高等学校および特別支援学校高等部に学習者用端末及び充電保管庫を設置
- ・設置時期：令和5年3月までに設置
- ・設置台数：端末数8,268台、充電保管庫237台(内訳は下記表のとおり)

校種	端末数(台)※1	充電保管庫(学級数分)(台)
市立高校(9校10課程)※2	7,663	207
特別支援学校高等部(12校)	605	30
合計	8,268	237

※1: 令和4年5月1日現在の在籍生徒数を基に算出

※2: 校数としては、戸塚高校定時制は戸塚高校、横浜商業高校別科は横浜商業高校に併置として含む

3 その他の事業補正

合計: ▲2,311,702 千円

(1) 小中学校整備事業

▲2,311,702 千円

(単位:千円)

事業名	9月補正前 現計予算	補正額	補正額				9月補正後 現計予算
			国費	県費	市債	一般財源	
小中学校整備事業	11,585,430	▲2,311,702	▲432,332	-	▲1,789,000	▲90,370	9,273,728

上菅田笹の丘小学校ほか1校において、事業進捗等により当初想定から変更となった工事について減額となるとともに、汐見台小学校において、国庫補助事業が当初予算に比べ増額となったことによる事業費の補正を行います。

◆実施概要

ア 上菅田笹の丘小学校 ▲2,343 百万円

地中に予測できなかった地層等があり、地盤改良と杭位置の変更に伴う基礎の拡張等により工事に遅れが生じ、工事の出来高が減少することに伴う、事業費の減額

※あわせて、債務負担行為を設定(「4債務負担行為補正」(1))

イ 榎が丘小学校 ▲115 百万円

入札中止によって契約時期に遅れが生じ、工事の出来高が減少することに伴う、事業費の減額

※あわせて、債務負担行為の期間・限度額を変更(「4債務負担行為補正」(2))

ウ 汐見台小学校 147 百万円

屋上の設備設置対応や屋外排水設備の仕様変更等のほか、建設発生土の運搬・処分費にかかる費用が増加したことに伴う事業費の増額

4 債務負担行為補正**合計： 5,200,000 千円****(1) 上菅田笹の丘小学校建替工事請負契約の締結に係る予算外義務負担 2,700,000 千円**

◆設定理由

上菅田笹の丘小学校建替工事について地中に当初予測できなかった地層等があることが判明し、工期が変更となったことに伴い、予算外義務負担を設定します。

(単位:千円)

事項	期 間	限度額
上菅田笹の丘小学校建替工事請負契約の締結に係る予算外義務負担	令和5年度	2,700,000

(2) 榎が丘小学校建替工事請負契約の締結に係る予算外義務負担 2,500,000 千円

◆変更理由

榎が丘小学校建替工事について、入札中止により契約時期が遅れたことに伴い、予算外義務負担の期間及び限度額を変更します。

(単位:千円)

事項	期 間		限度額	
	変更前	令和5年度	変更前	2,400,000
榎が丘小学校建替工事請負契約の締結に係る予算外義務負担	変更後	令和5年度から令和6年度まで	変更後	2,500,000